

# イベント解析パッケージ Exaplog

他社 PCS イベント解析機能  
Exaquantum イベント解析機能

Exaplog イベント解析パッケージは、2003年7月に最新のリリース( R3 )を発売しました。Exaplog R3は、他社 Process Control System( 以下 PCS とする )や、PIMS<sup>\*1</sup> のイベントを解析する機能を追加しました。

以下に、R3の機能をご紹介します。なお、PCSとは、DCSおよびPLCを含みます。

## [主な特長]

### Exaplogの特長

- PCS イベントログを、定周期で収集 / 保存します。
- 視覚的な解析で問題点を簡単に、かつ定量的 / 直感的に抽出します。
- アラーム / PCS操作のバランスで、改善目標を可視化します。( 図1 参照 )

### 最近のイベント解析に求められるもの

現在プラント操業に求められるものは、安全性、安定性への追究から、現状設備での高効率運転が求められています。そのため、Exaplogでは、以下のような運転上非効率と考えられる領域を発掘できます。

不要・冗長・繰返しアラームの発生

運転員の経験から行われる手動操作

このような解析は、全プラントを対象としており、PCSベンダーに関わらず同一操作で解析可能であることが求められています。

また、PIMS( Exaquantum )が持つ全プラントのイベントデータ解析も必要とされています。

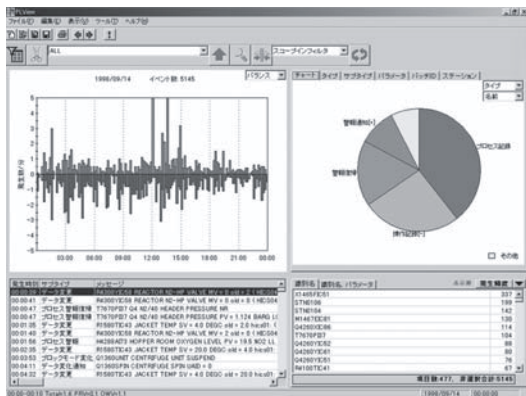


図1 Exaplog イベント解析ツール画面

### 他社 PCS イベント解析機能

図2の手順のように、Exaplogに標準機能として搭載された、「他社PCS用変換テーブル」<sup>\*2</sup>「汎用データ変換ツール」<sup>\*3</sup>によって、解析対象を限定することなく、幅広いPCSを解析対象とすることが可能となっています。解析可能なイベントは、CSV形式で出力されたファイルが対象となります。

### 他の Exaplog R3 新機能

- 識別名にアラームオフ( AOF )を追加  
抑制状態のアラーム( AOF )が識別可能です。
- 識別名にアラーム重要度を追加  
重要度別アラームが識別可能です。
- フィルタ機能強化  
フィルタ定義機能で、タグ名検索にワイルドカード「\*」を使用し、容易にフィルタ設定可能です。

解析対象 PCS		( 対応時期 )
山武 株 製	TDCS3000	( 2003 年 7 月 )
( 株 ) 凍芝 製	CIEMAC-DS	( 2003 年 7 月 )
Emerson 製	Delta V	( 2003 年 9 月 予定 )
Honeywell 製	TDC-3000	( 2003 年 11 月 予定 )
横河製 PIMS	Exaquantum	( 2003 年 7 月 )
YSE 製	Tri-REPORT	( 2003 年 7 月 )

その他 PCS、PIMS の接続については、横河電機へお問い合わせください。

\*1 Plant Information Management System

\*2 他社 PCS 用変換テーブルは、イベントタイプの分類、メッセージ内容の記述追加を行います。

\*3 汎用データ変換ツールは、Exaplog 表示可能データへ変換を行います。

問い合わせ先：システム事業部 IA ソリューションセンター  
TEL：0422-52-6375  
E-Mail：exasoft@csv.yokogawa.co.jp  
URL：http://www.yokogawa.co.jp/EXASOFT/01\_Top\_Page/index.htm#top

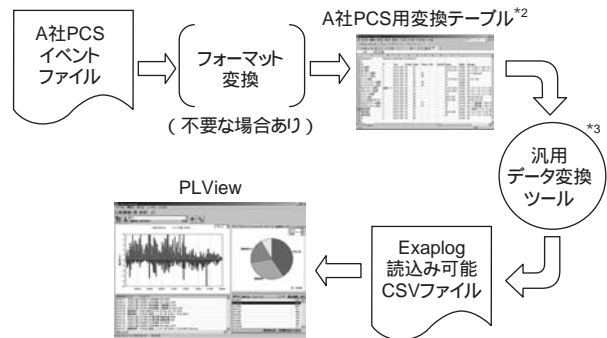


図2 他社 PCS イベント接続概要